

28年3月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成28年3月1日～ 28年3月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
3月分の回答企業数は45社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/3月	4月	5月
仕入動向	国産材	1.4	△ 9.7	△ 7.4
	外材	△ 5.8	△ 13.1	△ 9.8
販売動向	国産材	1.4	△ 5.7	△ 4.5
	外材	△ 4.7	△ 3.6	△ 2.5
在庫動向	国産材	△ 2.8	△ 9.7	△ 5.9
	外材	△ 1.2	△ 9.5	△ 11.0

・製材品の仕入は、国産材は3月の微増が、4月、5月は減少。外材は3ヵ月連続して減少。

・製材品の販売は、国産材は3月の微増が、4月、5月は減少。外材は3ヵ月連続して減少。

・製材品の在庫は、国産材及び外材共に3ヵ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	28/3月	4月	5月
スギ正角(グリーン)	△ 1.9	0.0	1.0
スギ正角(KD)	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角	△ 1.8	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	1.8	0.0
米ツガ正角(現地挽)	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	0.0	△ 1.8	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	5.2	0.0	1.9
ホワイトウッド集成管柱	△ 1.7	0.0	2.8
レッドウッド集成平角	0.0	△ 1.9	△ 1.9
型枠合板(輸入)	△ 21.2	△ 9.6	△ 2.0
針葉樹構造用合板	1.9	△ 6.0	2.1
針葉樹構造用合板(厚物)	2.3	0.0	5.0

・スギ(グリーン、KD共)及びヒノキの製品価格は保合。

・米ツガ及び米マツの製品価格は保合。

・北洋アカマツタルキの価格は3月のやや強保合が4月、5月は保合。

・WW集成管柱及びRW集成平角の価格は保合ないしやや弱含み。

・型枠合板(輸入)は3月の弱含みが、4月、5月はやや弱含みに。針葉樹構造用合板は保合ないしやや強保合。